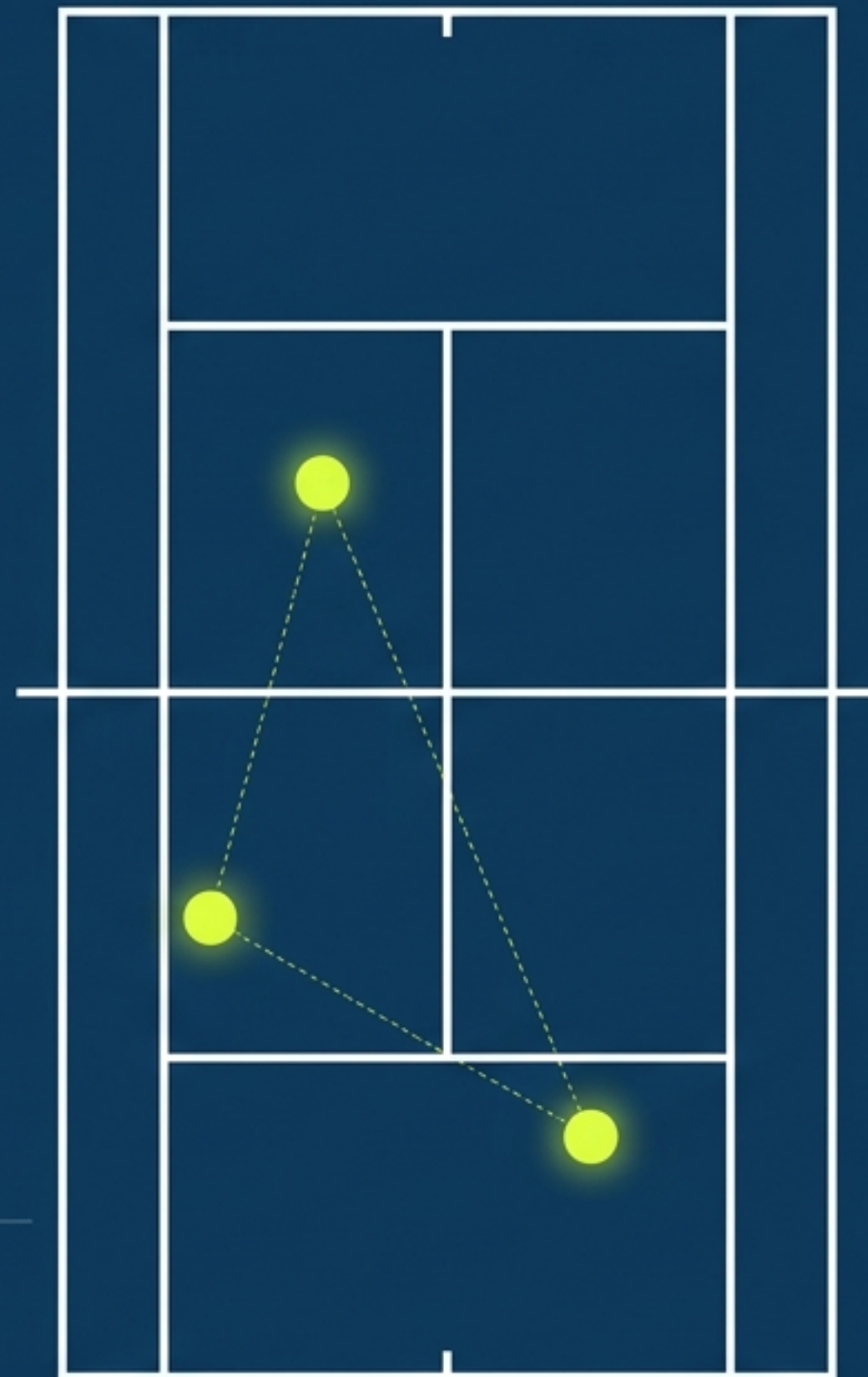
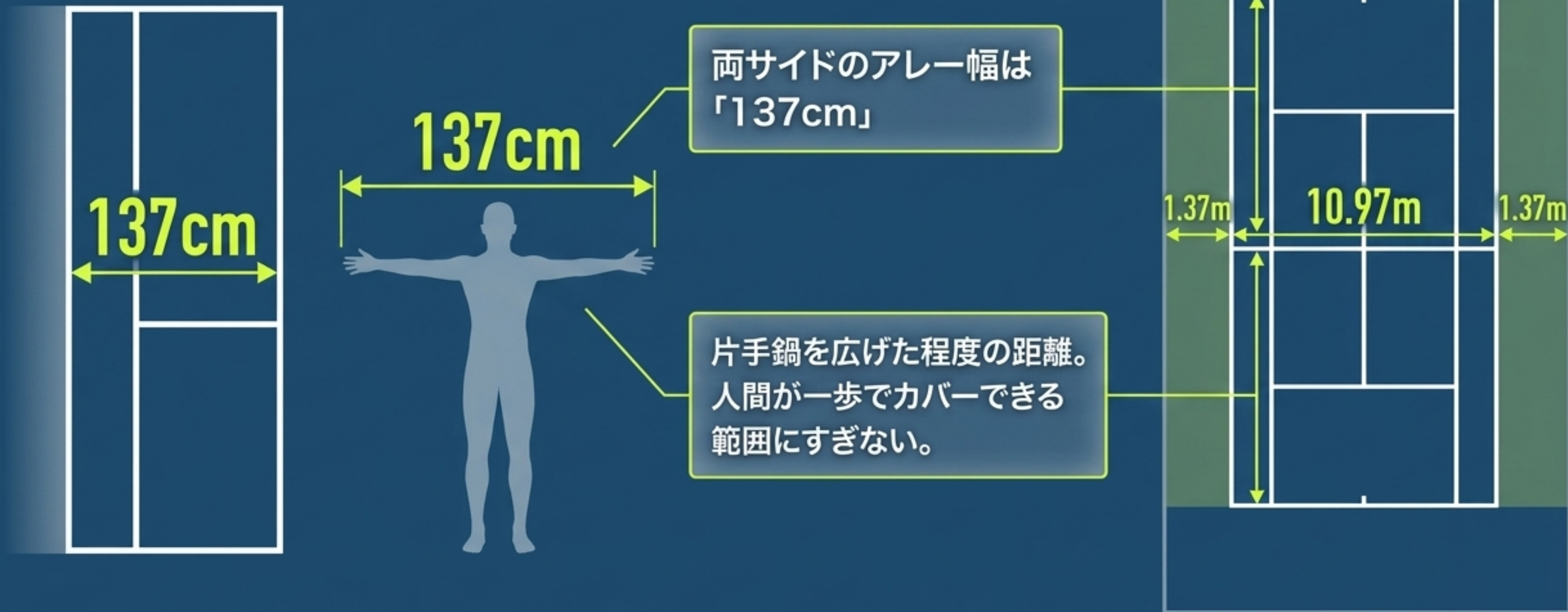


ダブルスは 「ポジショニング」 で勝つ

空間と確率を支配する戦術の第一原理

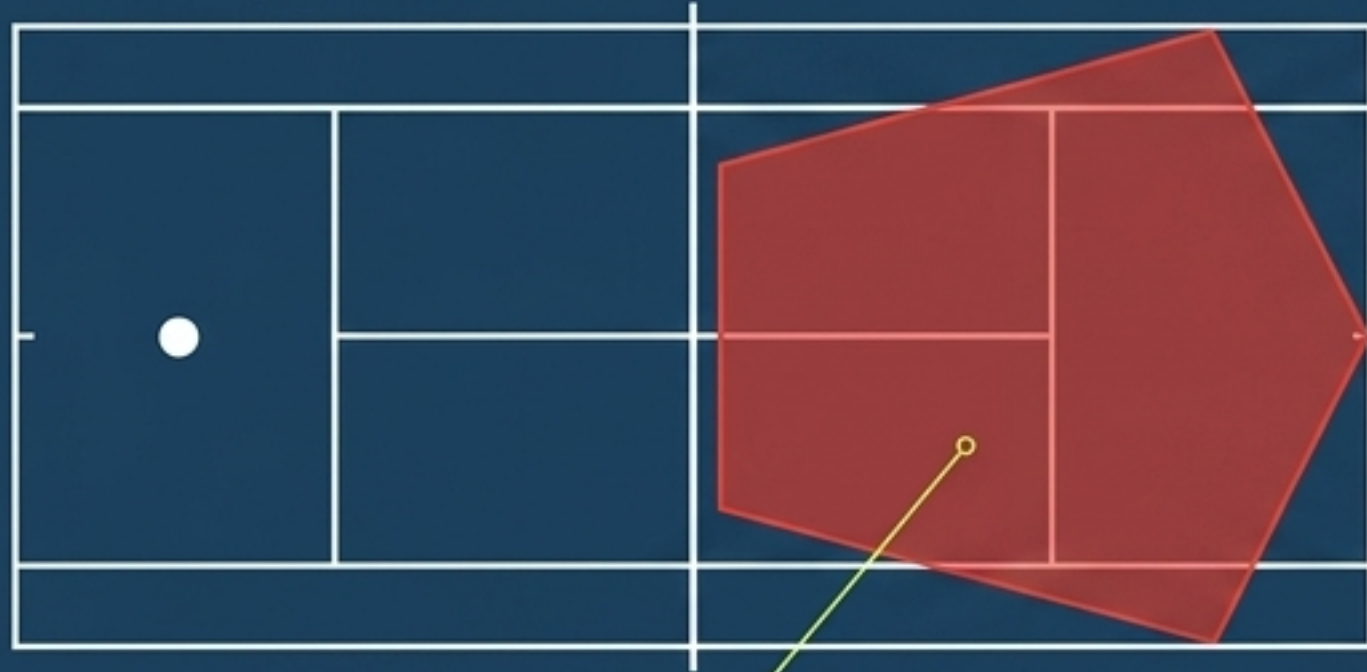


アレーコートの錯覚

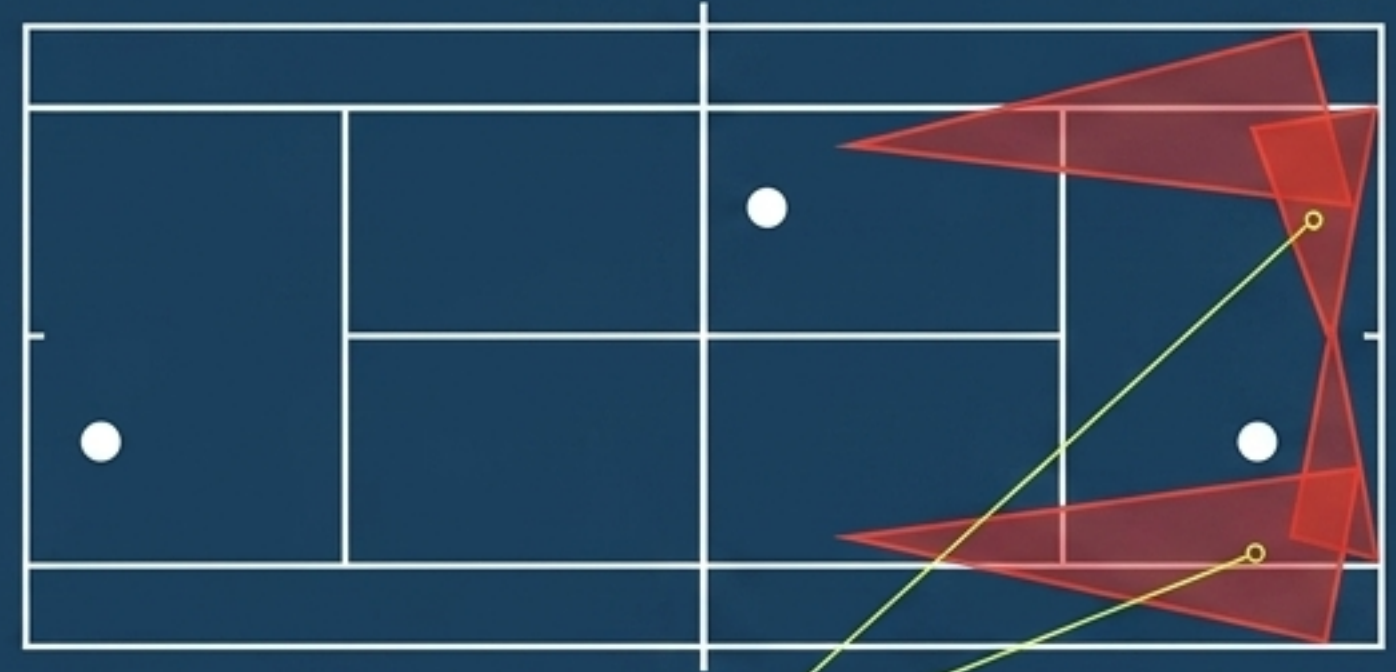


広大に見えるダブルスコートの追加幅は、実は微々たるものである。

オープンスペースはシングルの「半分」



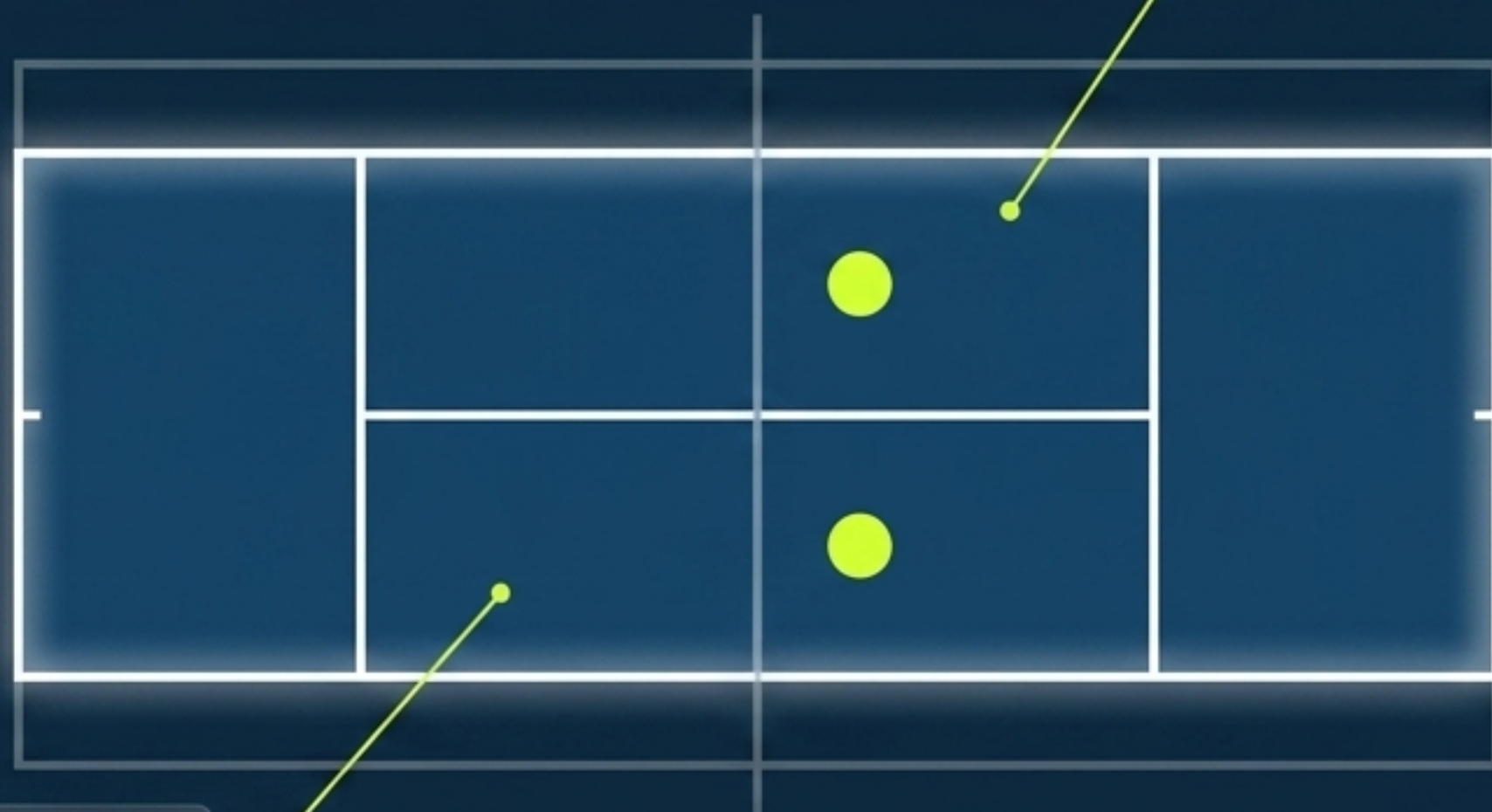
1人で守る広大なスペース



2人で塞ぐため、
物理的な隙間は半減する

ダブルスでミスが出やすいのは、
打てるスペースが圧倒的に少ないからである。

ダブルスは「2人でシングルスコートを守る」スポーツである



ボレーのほとんどはシングルスラインの内側に落ちる

シングルスコートの範囲に2人が入るため、正しいポジションを取れば簡単に抜かれることはない

70%のポイントは「3球以内」で決着する

70%



サーブ・リターン (50%) + 前衛のボレー/スマッシュ (20%) = プロのポイントの70%

[極小のスペース]

+

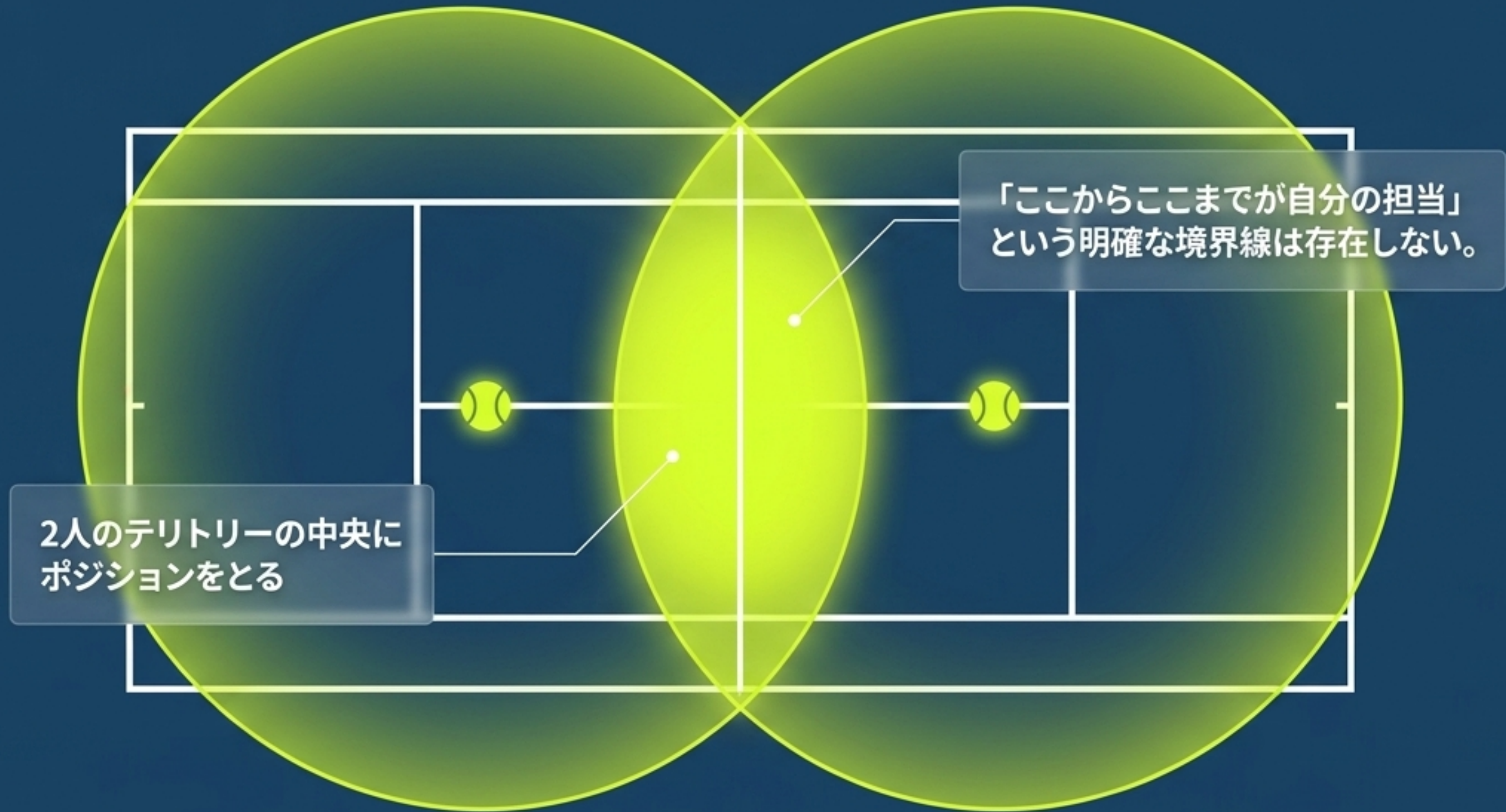
[正しいポジション]

=

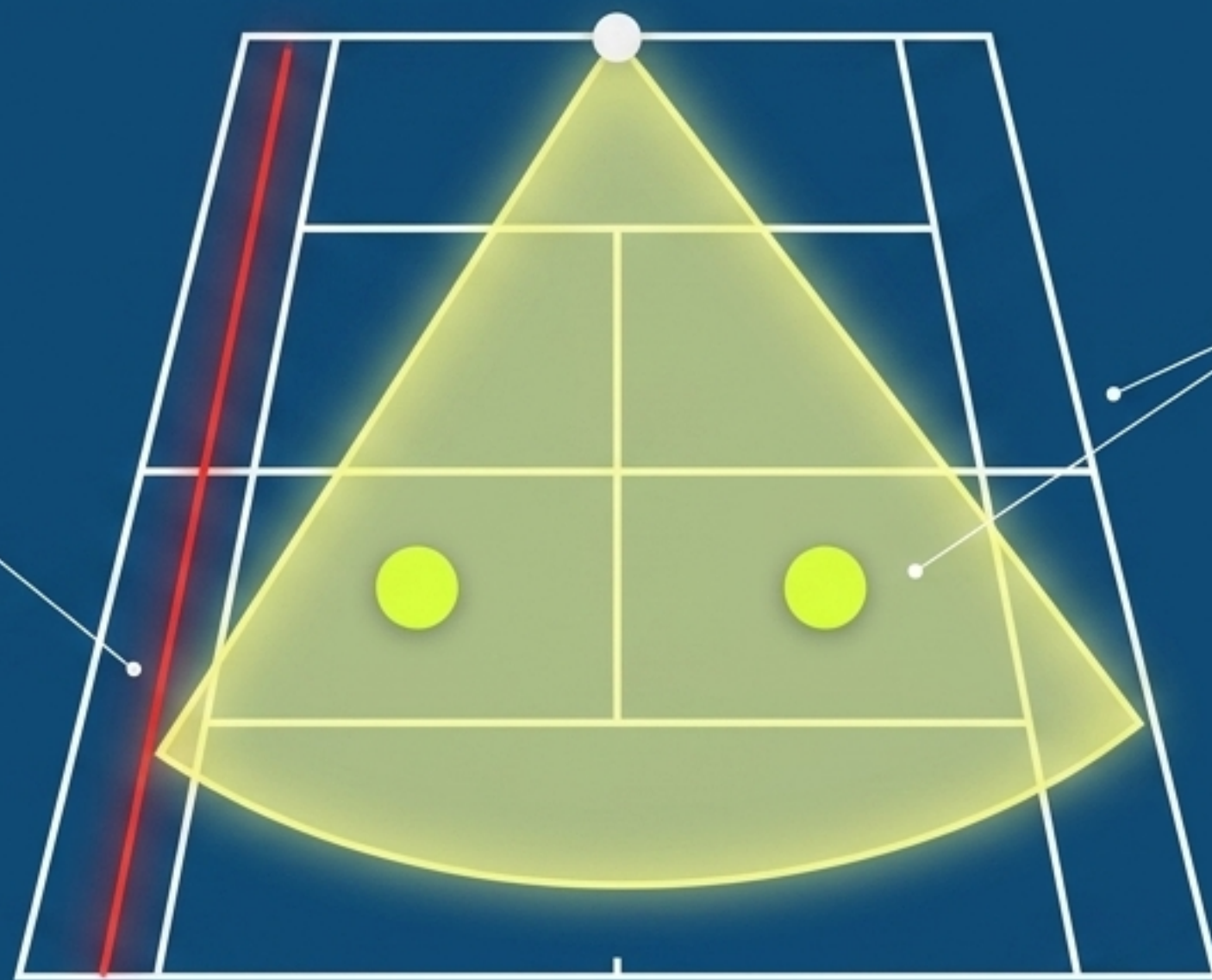
[相手の無理なショットとミス]

長いラリーは発生しない。ポジショニングによる「プレッシャー」が勝敗を分ける。

テリトリーは固定された枠ではなく「動く守備範囲」



意図的に作る「捨てコース」



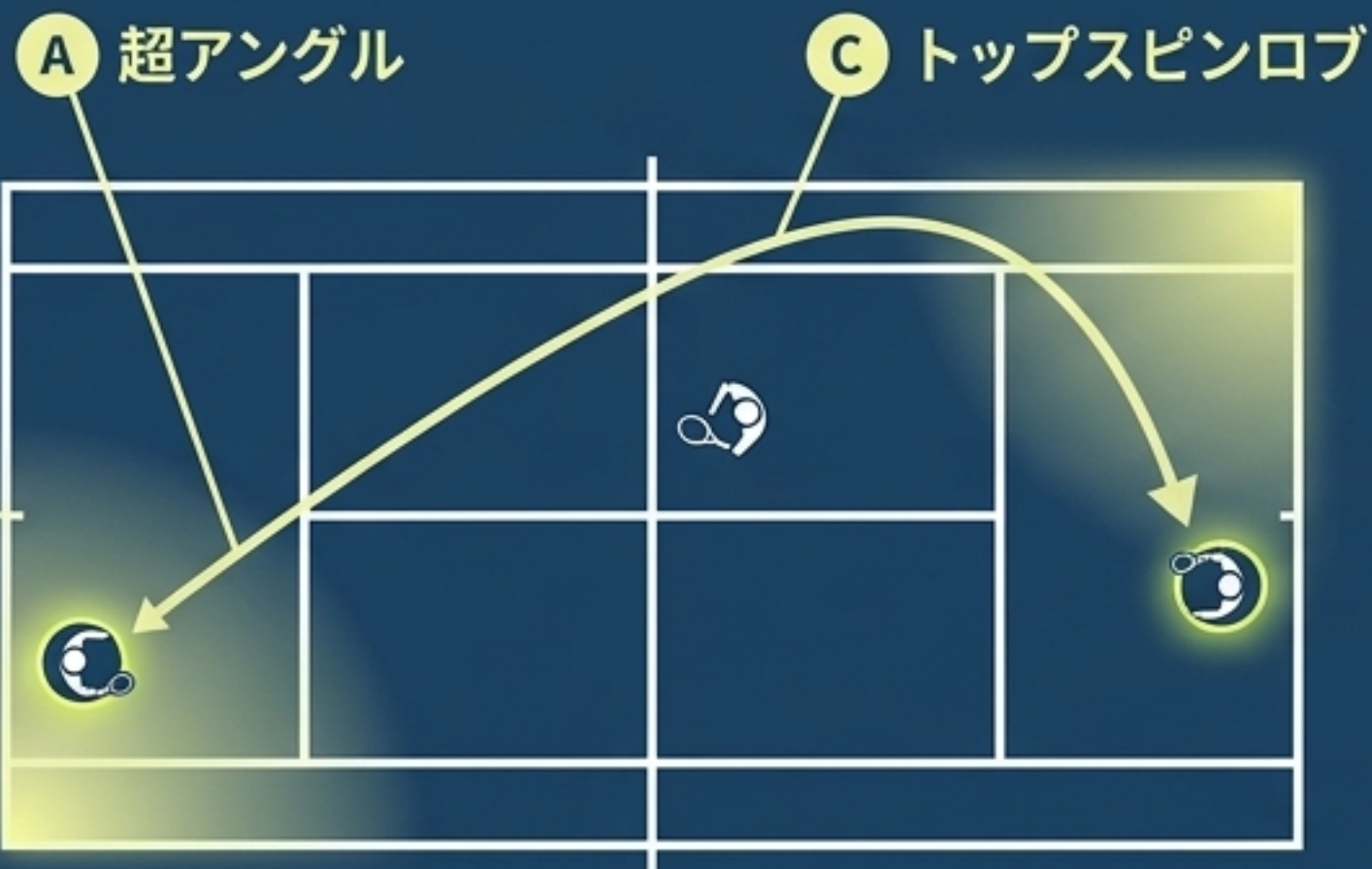
抜かれても
「ナイスショット」と割り切る
難易度の高いコース

高確率のコースを
2人で完全に塞ぐ

相手の打球範囲を狭め、無理なシュートを打たせることが真の目的。

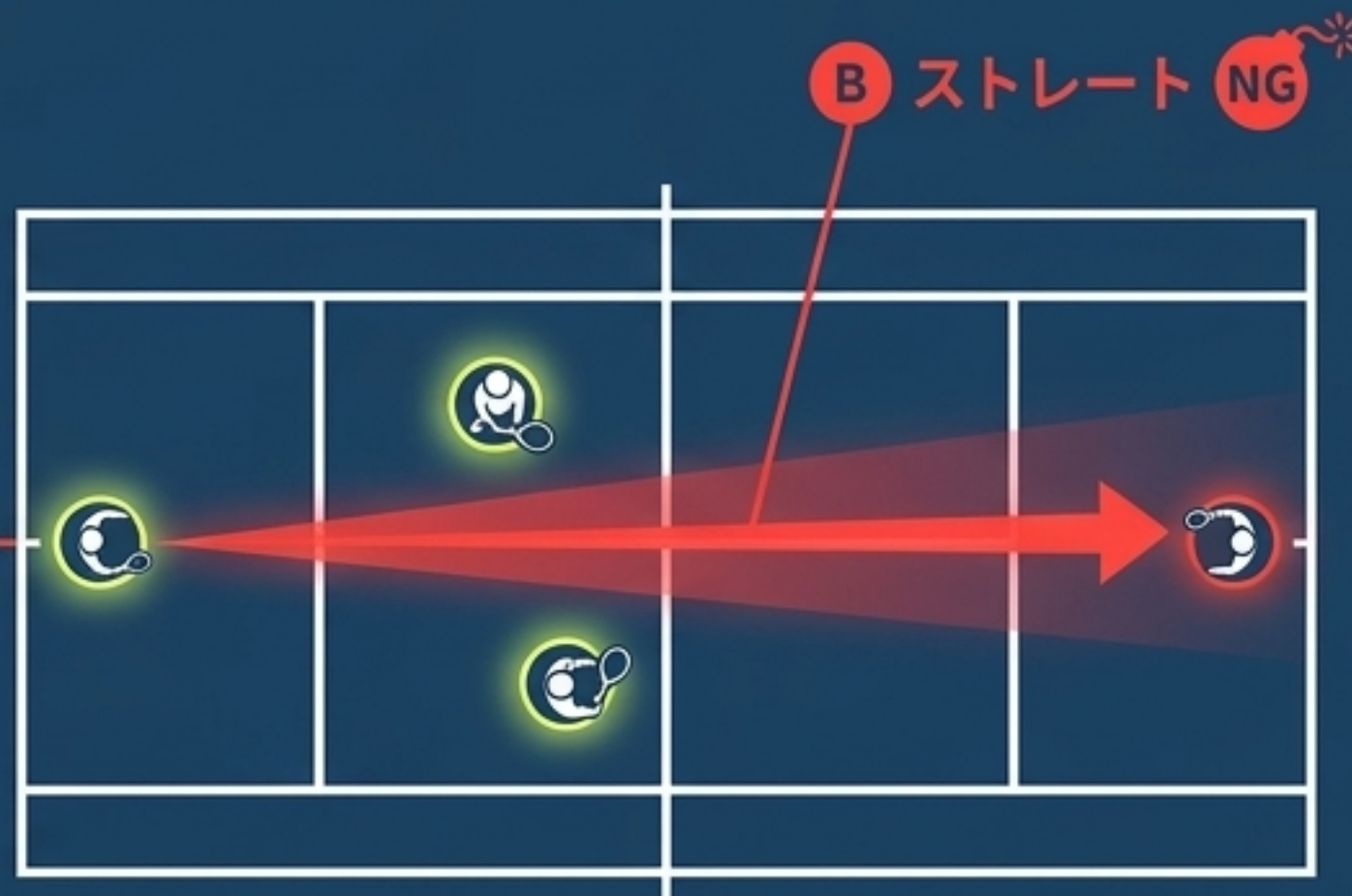
ポジショニング診断表：気にする失点 vs 気にしないでいい失点

OK - 気にしないでいい失点



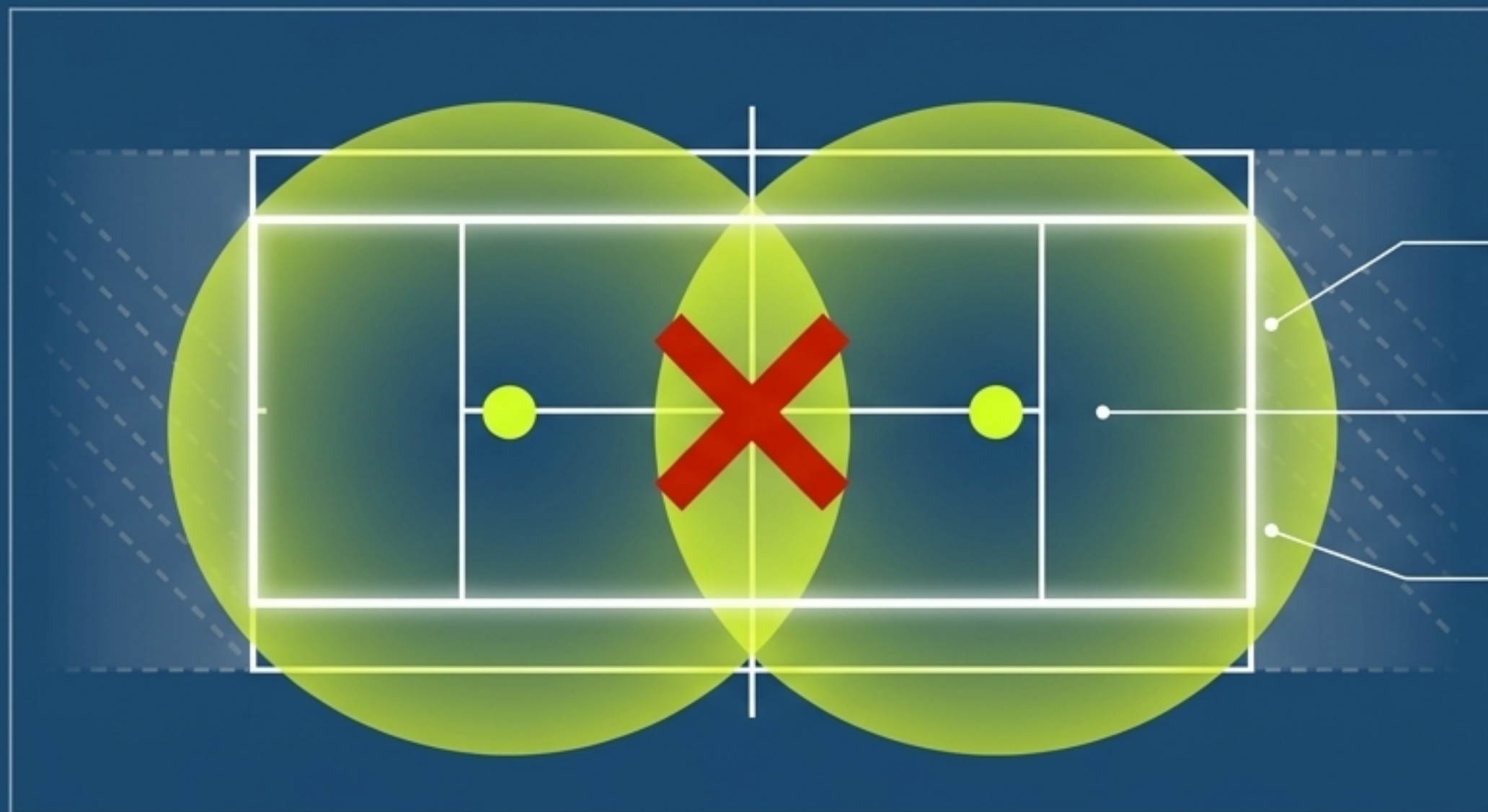
超アングルやデッドスペースへの完璧なロブ。
これは相手を褒めるべき「仕方ない」失点。

NG - 気にすべき失点



センターを綺麗に割られるボール。これは2人の
ポジショニングが根本的に間違っている証拠。

勝てる陣形の解剖図



- ✓ [1] シングルスコート
の幅を意識する
- ✓ [2] センターの防御を絶対的な
最優先とする
- ✓ [3] 確率の低い「捨てコース」
には手を出さない

空間を正しく認識すれば、ダブルスは「反射神経」ではなく「幾何学」で勝てる。